



先に虹の橋を渡っていった友達の中でウエルシュコーギーのハロルド君は大変若くして旅立ったのですが、その彼が後から虹の橋を渡ってきたワンたちの「生まれ変わり」のお手伝いをするアドバイザーになっていて、持ち前の明るさと誠実な犬柄が皆の信頼を得て、彼の進路相談の窓口は引きも

きらずの状態のようでした。彼の第一希望は人間世界で弁護士になる事だったのですが、神様(仏様かも)に説得されて天界に残っているとのでした。さすが神様のキャストイングの巧みさにはびっくりです。

又、私がM家の一員となって初めて他所のワンに出会ったのがA家のゴールデンレトリバーのチャッピーちゃんでした。彼女は私より2歳年長でちょっとスマシタ感じのお姉さまでしたが、ワンの仲間内では特に女の子たちの立ち居振る舞いについてはチェックが厳しいリーダー的な存在でした。そんな彼女でも家族の中では特に飼い主であるお父さんにはべったりで片時も傍から離れがたく、離れていてもいつもお父さんの動きを目で追いつけているような甘えん坊さんでした。又、病院・介護施設・幼稚園などでの「ふれあい活動」にも参加し、小児キャンプでの訪問活動では、お父さんの指示で「脚側歩行」・「股下くぐり」や「ハイジャンプ」などの一発芸を披露し大喝采を受けていました。

そのチャッピーちゃんについての消息をハロルド君に尋ねたところ、本人の希望通りに人間世界で女優をめざして頑張っているとの事でした。私としてはサリバ先生みたいな「教職などがふさわしいかな」などと考えていたのでちょっと意外だったのですが、優雅で気品が漂うチャッピーちゃんには「それもお似合いかな」と納得し、夢から醒めた後わが飼い主にこの話をしたところ「俺は瀬戸内少年野球団の女教師役をやった夏目雅子のような女性がいい」などと訳の分からない感想を言うておりました。

しりきれとんぼで……………以下次号へつづく(M)